

事務事業 No./名 称	■サービス部門 こども・24 子ども会館・子どもの家管理運営事業						
	□支 援 部 門						
主管課	青少年課	関連課	こどもみらい課				
分野名	青少年育成						
目標 (目標値)	市内各小学校区にそれぞれ1箇所ずつ子ども会館・子どもの家を整備する(子ども会館・子どもの家各16箇所)						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人			
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数	22,972人	22,822人	22,475人			
運営資源 状 況	決算値(千円)	216,319	204,870	205,456			
	(国・県)	30,391	33,234	34,920			
	(負担金等)	47,554	45,313	45,148			
	(一般財源)	138,374	126,323	125,388			
	人員配置数	3.6	2.9	2.8			
	人 件 費(千円)	31,379	27,203	26,220			
	協 働 の パートナー	かまくら子育て支援グループ懇談会	NPO法人輝き・遊っこ・楽っこ	NPO法人輝き・遊っこ・楽っこ			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	247,698	232,073	231,676			
	市民1人当 りの経費(円)	1,398	1,310	1,308			
	対象者1人 当りの経費(円)	10,783	10,169	10,308			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
各小学校区での小学校への距離 と子ども会館未設置の解消など 子ども会館・子どもの家の適正な 整備 ◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	△	目標値	16施設	16施設	16施設	16施設	16施設
		実績値	9施設	9施設	10施設	9施設	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止									
子ども会館・子どもの家管理運営事業	216,319千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	市内16小学校区すべてに、放課後児童健全育成事業として子どもの家を開設し、入所している児童に対して家庭的な生活時間を提供している。また、子ども会館では、地域の0歳児から中学生までに適切な遊びの場を提供している。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	・子ども会館・子どもの家の持続可能な運営体制について検討する必要がある。 ・子どもの家運営指針を策定する必要がある。 ・入所児童数の増加に対応するため、ふかさわ子どもの家を1教室増設する必要がある。 ・入所児童数の増加に対応するため、やまさき子ども会館・子どもの家を増築する必要がある。		
課題解決のための取組	・保護者と意見交換をし、子どもの家運営指針の策定ができた。 ・ふかさわ子どもの家を学校との共用スペースとして1教室増設した。 ・やまさき子どもの家を増築した。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	・子ども会館・子どもの家の持続可能な運営体制について検討する必要がある。 ・入所児童増加に伴い、施設規模が手狭になってきているため放課後全児童対策を関係部署と検討する必要がある。 ・子ども・子育て支援新制度導入に向け、準備を進める必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		↓ A	課長等名
		③有効性 ○			青少年課長
		④公平性 ○			能條 裕子

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
子ども会館・子どもの家管理運営事業	主な個別事業	1309 こども育成専任指導員報酬	63,996	62,394	○	○	○	○
		1309 こども育成指導員報酬	99,652	95,531	○	○	○	○
		1309 事務補助嘱託員報酬	1,028	1,028	○	○	○	○
		1309 夏期及び障害児対応臨時的任用職員賃金	10,865	10,834	○	○	○	○
		1309・1312 子ども会館・子どもの家消耗品費	5,327	5,871	○	○	○	○
		1309 腰越子ども会館・子どもの家移転事業消耗品費(繰越明許費)	0	359	○	○	○	○
		1309・1312 子ども会館・子どもの家光熱水費	5,155	5,503	○	○	○	○
		1309 子ども会館・子どもの家修繕料	11,399	8,822	○	○	○	○
		1312 仮設おなり子どもの家整備修繕料	4,845	4,800	○	○	○	○
		1309 大船第二子ども会館耐震診断等業務委託料	0	1,227	○	○	○	○
		1312 山崎子ども会館・子どもの家増築棟基礎設計及び施工業務委託料	0	1,208	○	○	○	○
		1309・1312 機械警備委託料	1,164	1,164	○	○	○	○
		1309 軽作業委託料	389	300	○	○	○	○
		1309 子どもの家利用料徴収システム保守委託料	158	158	○	○	○	○
		1312 防球ネット設置委託料	2,940	0	○	○	○	○
		1309 備品等廃棄物収集運搬処分等委託料	411	425	○	○	○	○
		1312 子どもの家賃借料(第一小学校区分)	2,160	2,320	○	○	○	○
		1312 山崎子ども会館・子どもの家増設分リース料	3,000	44	○	○	○	○
		1309・1312 子ども会館・子どもの家備品購入費	757	1,478	○	○	○	○
		1309 腰越子ども会館・子どもの家移転事業費(繰越明許費)	0	0	○	○	○	○
	主な個別事業	1309 梶原子ども会館運営事業負担金	2,300	2,300	○	○	○	○
		1312 だいいいち子どもの家光熱水費負担金	464	436	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							